

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.5
Q1 室内環境			0.30					2.6
1 音環境		2.6	0.15	-	-			2.6
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-			
2 温熱環境		2.0	0.35	-	-			2.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-			
1 室温		3.0	0.38	3.0	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式		1.0	0.30	3.0	-			
3 光・視環境		2.7	0.25	-	-			2.7
3.1 昼光利用		4.2	0.30	-	-			
1 昼光率	昼光率 3.67%	5.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		1.0	0.30	-	-			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		1.0	1.00	3.0	-			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-			
4 空気環境		3.3	0.25	-	-			3.3
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	F をほぼ全面的に採用した。	4.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		2.3	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-			
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33	3.0	-			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			2.9
1 機能性		2.8	0.40	-	-			2.8
1.1 機能性・使いやすさ		2.6	0.40	-	-			
1 広さ・収納性	9㎡/人以上執務スペースを確保	4.0	0.33	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	-			
1.2 心理性・快適性		2.3	0.30	-	-			
1 広さ感・景観		3.0	0.33	3.0	-			
2 リフレッシュスペース		1.0	0.33	-	-			
3 内装計画		3.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	フロア毎にSKを設置、トラップ取外可等。	4.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31	-	-			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		1.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水: VLP、排水(汚水、雑): VP、Eは不使用。	5.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4	信頼性		3.6	0.19	-	-	
1	空調・換気設備	熱源を電気、ガスとした。地震対策として吊配管とした。	4.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水機器(便器、混合水栓)の採用。配管の系統を区分。	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用電源の設置。電源設備は地下設置をしない。	4.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3	対応性・更新性		3.1	0.29	-	-	3.1
3.1	空間のゆとり		3.4	0.31	-	-	
1	階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 = 0.133%	4.0	0.40	3.0	-	
3.2	荷重のゆとり		3.0	0.31	3.0	-	
3.3	設備の更新性		3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.40	-	-	2.1
1	生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	-	2.0
3.1	地域性への配慮 快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.3
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	3.8
1	建物の熱負荷抑制		-	-	-	-	-
2	自然エネルギー利用		3.0	0.29	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3	設備システムの高効率化	ERR = 67%	5.0	0.43	-	-	5.0
	集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)		5.0		-	-	
	集合住宅の評価	ERR=67%	-		-	-	
4	効率的運用		3.0	0.29	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.7
1	水資源保護		3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	節水機器(便器、混合水栓)を採用した。	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.5	0.63	-	-	2.5
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.21	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.25	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.22	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.3
1	地球温暖化への配慮	LCCO2排出量 = 79%	3.8	0.33	-	-	3.8
2	地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	ゴミ種類の把握をし、分別ゴミ箱の設置スペース確保、有価物の事業回収	4.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2	風害・砂塵・日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害を抑制した計画とした。	4.0	0.70	-	-	
2	曇光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	